

社叢学研究18号

巻頭論文

延喜式内社から見る鎮守の森の様相と課題 賀来 宏和 森本 幸裕

研究論文

ブナと社叢—東日本太平洋側を例として 原 正利

第18回総会シンポジウム「社叢と災害史」

基調講演 倒れる木とどうつきあうか ～ウィルダネスとワイズユース～

森本 幸裕（京都大学名誉教授）

パネルディスカッション

パネリスト 渡辺 弘之(社叢学会副理事長・京都大学名誉教授)

糸谷 正俊(社叢学会副理事長・(株)総合計画機構相談役)

藤田 直子(社叢学会理事・筑波大学教授)

コーディネータ 上甫木 昭春(社叢学会理事・大阪府立大学名誉教授)

2019年度総会研究発表の概要

東日本大震災被災地社叢復興支援事業について

水度神社社叢保全事業について

鎮守の森の活動報告

社叢訪問記

書評

『神仏の森は消えるのか—社叢学の新展開—』前迫 ゆり

『沖縄の聖地 御嶽 神社の起源を問う』『八重山の御嶽 自然と文化』木村 甫

『どんぐりの生物学 ブナ科植物の多様性と適応戦略』服部 保

研究ノート

大阪府中部における神社境内の神木 増井 啓治

研究論文

京都府宮津市籠神社社寺林（社叢）のスギ衰退と土壌化学性

伊藤 和男・基山 正敏